

序

本書は昭和58年度に行われた法隆寺防災工事に伴う事前発掘調査の概要である。今回の発掘調査に於いては法隆寺に伝承される伏蔵のうち、未確認であった一つが発見される等、新たな重要遺構の発見が相い次いだ。

ここに昨年発行された「法隆寺発掘調査概報Ⅱ」に続いて、発掘調査を担当されている各位に依頼し本書を公刊することにした。なお、法隆寺新収納庫建設に伴う事前発掘調査の結果も合わせて公刊することとした。この調査報告を披歴することに依り法隆寺研究が一層進展することを期待するとともに、発掘調査ならびに本書公刊に全面的に御協力をいただいた奈良国立文化財研究所及び奈良県立橿原考古学研究所各位に厚くお礼を申し上げたい。

昭和59年7月

法隆寺管主

大野可圓